

THE GAME

ザ・ゲーム

Play... as long as you can!
Steffen Benndorf

プレイ人数: 1-5人
年齢: 8歳以上
所要時間: おおよそ20分

ゲーム中、テーブル中央にはカードの列が4つ作られます。2つの列は昇順(1-99の数字)、そしてもう2つの列は降順(100-2の数字)です。同じチームのメンバー全員でプレイし、そしてできるだけ多くのカードを置くことを試みます。できるならば98枚のカードを4つのカードの列にすべて置いてください。

4枚×列カード



2枚×昇順(1-99)



2枚×降順(100-2)

98枚×数字カード



2-99の数字

カードの列：カードを置くためのルール

昇順のカードの列では、置かれた各カードの数字はその前に置かれたカードより常に大きくなければなりません。カード間にどれだけの間隔が空いているかは関係しません。例: 3, 11, 12, 13, 18, 20, 34, 35, 51 または 2, 7, 19, 25, 28, 29, 49 等。カード間の間隔ができる限り小さくなるようにすることで、プレイヤーはより多くのカードを並べることができます。

重要: 收拾がつかなくなるようにカードを並べていくよりは、むしろ別の置き場に数字カードを積み重ねた方がいいでしょう。そのような理由により、各列カードの側にカードの山を作ります[訳注: 数字カードの山札と区別するため、ここでは山と称します]。各山の一番上のカードだけが見えるようになります。



例:

昇順の数字カードの山に、最初は4のカードが置かれ、その後に8、そして13のカードが置かれます。

降順のカードの列は、昇順のカードの列の正反対となります: 置かれた各カードの数字は、その前に置かれたカードより常に小さくなければなりません。例: 94, 90, 78, 61, 60, 57 または 98, 97, 88, 83, 81 等。

ゲームを始めるには



4枚の列カードはテーブルの中央に表向きで、上から下に縦に並べます(イラストを参照)。もれなく98枚の数字カードを混ぜてください。3人、4人または5人プレイゲームでは、各プレイヤーに6枚のカード(2人プレイゲームでは7枚のカード)を配ります。それはプレイヤーの手札となります。残った数字カードは山札とし、テーブルのわきに裏向きで置きます。

1人プレイゲーム: プレイヤー自身に8枚のカード(それらは手札となります)を配ってください。

プレイするには

最初に、各プレイヤーは自身の手札を確認します。その後、どのプレイヤーが最初にプレイするか[訳注: スタートプレイヤーを指す]を決定します。時計回りの順番で、交代しながらゲームを進めてください。手番では、手札から少なくとも**2枚のカード**を4枚ある列カードのいずれかのカードの右側に出します。

出せるのであれば、プレイヤーは望むだけ手札にあるだけの複数のカードを置くことができます。順々にカードを置いてください。プレイヤーは、降順または昇順に置くようにそれぞれの列に示されているルールに従う限り、自身の数字カードをどの山に置くかを自由に選ぶことができます。プレイヤーは同じ山上にすべてのカードを置くことも、望む順番で複数の山に置くこともできます。

例: リノスの手番です。リノスは、最初に昇順の山の上にカードを1枚置き、その後に2つ目の昇順の山の上に2枚のカードを置き、最後に降順の山の上に別のカードを置きます。

プレイヤーが手番を終えたならば、山札からこの手番で置いたカードと同じ枚数のカードを引き、手札が6枚(3、4、5人プレイ時)または7枚(2人プレイ時)になるように補充します(1人プレイ時は8枚)。次以降のプレイヤーの手番では、自身のカードを置いて、山札から手札が元の枚数に戻るように補充します。

例:リノスは4枚のカードを置き、そして手番の終わりに山札から4枚の新しいカードを引きます。

山はさらに大きくなる:巻き戻すためのトリック!

ゲームを続けていく中、プレイヤーがさらに多くのカードを山に置いていくにつれて4つの山の数字は増大(減少)し続けるでしょう。既に記述されているカードを置くためのルールは、すべての場合において従わなければなりません。しかし、プレイヤーが山の数字を元に戻すように置くことができる単純な1つの例外があります。

ここに、それはどのようにすればいいのかを示します:

- プレイヤーの手番で数字カードが、山の一番上に置かれているカードの数字より**きっかり10低い数字**ならば、昇順の山の上にカードを置くことができます。



例:

通常であれば、47を超えているカードを昇順の山の上に置かなければなりません。チームの手番です。チームは手札の中に37の数字カードを持っており、きっかり10低い数字なので山の上にカードを置くことができます。

- プレイヤーの手番で数字カードが、山の一番上に置かれているカードの数字より**きっかり10高い数字**ならば、降順の山の上にカードを置くことができます。



例:

通常であれば、65未満であるカードを降順の山の上に置かなければなりません。サラの手番です。サラは手札の中に75の数字カードを持っており、きっかり10高い数字なので山の上にカードを置くことができます。

注釈:プレイヤーは望むのであれば、手番中に異なる山に対して何度でも巻き戻すためのトリックを使用しても構いません。例として、プレイヤーは最初に通常のルールで昇順の山にカードを置き、その後巻き戻すトリックを使用し、そして再び通常通り2枚以上のカードを置き、さらに再度巻き戻すトリックを使用し、そして通常通り他のカードを置いて...等。

許されているコミュニケーション

ゲーム中、プレイヤーは他のプレイヤーに手札の正確な数字を聞いたり、自身の手札を公開することは許されていません。いかなる方法でも**具体的な数字に関連するコミュニケーションは厳密に禁止されています!**

それ以外、他のすべてのコミュニケーションは認められています。例えば、次のように伝えることはできます:「最後の山の上に置かないでください。」または「この山の上に大きく離れた数字カードを置かないでください。」

ゲームの終了

山札が空になった時は、カードを引かずにプレイを続けてください。**注釈:**この時点以降、各プレイヤーは少なくとも**1枚のカード**を出さなければなりません(もしくはさらに多くの枚数を出しても構いません)。プレイヤーの手札にカードが残っていない場合、他のプレイヤーはそのプレイヤーを除いてプレイを続けます。プレイヤーが自分の手番中に最小限の枚数のカードを出せない場合(例:山札にカードが残っている間は2枚のカード、そして山札が空の場合は1枚のカード)は、**直ちにゲームが終了**します。

チームはどの程度上手くできましたか? ゲームが終わった時、山に置けなかったカードが**何枚か**を数えてください。それは、すべてのプレイヤーの手札に残っているカードと山札に残っているカードの枚数を合わせることを意味しています。10枚より少ないのであれば、優秀な結果です。98枚のカードすべてが出された場合、プレイヤーたちはゲームに打ち勝ったことになります! 今後、プレイヤーはゲームの難易度を上げることができます。

熟練者のために

各プレイヤーは少なくとも1回の手番に、3枚のカード(2枚の代わりに)を置かなければならない以外は、ルールは上記の内容とほぼ同じです。この内容でもまだ十分に困難でない場合は、さらに各プレイヤーに配られるカードの枚数を1枚減らすことができます。3人、4人、5人プレイゲームでは、各プレイヤーは5枚のカード、2人プレイゲームでは6枚のカード、1人プレイゲームでは7枚のカードを受け取ります。